

年度	区分	展覧会名	開催期間	関連する研究名	調査研究の展示事業への反映内容	備考(共催者等)
14	特別展	大仏開眼1250年 東大寺のすべて	14.4.20～14.7.7	南都諸社寺等に関する計画的な調査研究	<p>・当該研究のうち、東大寺関連の文化財調査の成果を集大成して展示を構成し、図録を制作刊行した。移動困難な奈良時代の塑像群の出陳、国内外からの多数の関連作品の出陳、丸山西遺跡における収集品をはじめとする新出資料の意味づけなどを行うことによって、空前の規模で東大寺の全体像を包括的・体系的に提示することに成功した。</p> <p>・作品調査と図像学的研究の成果に基づいて中国・韓国の作品を含む「華嚴経」関連作品を集めたコーナーを設け、東大寺大仏とその背景に存した思想を国際的に位置づけるなど、かつてない視点を盛り込んだ展示構成を行った。</p> <p>・日光・月光菩薩像や戒壇堂四天王像の安全な輸送・展示方法について事前に実地調査を重ねた結果、円滑に作業が行われるとともに、輸送困難な古代の塑像の運搬方法について、貴重なノウハウを蓄積した。</p> <p>・東大寺の了承を得て展示中の戒壇堂四天王像(国宝)を、最新の技術でエックス線透過撮影した。画像を分析した結果、心木の構造が従来想定されていたものとは大きく異なっていることが判明した。調査結果はいち早く報道発表を行って公表し、奈良時代彫刻史を塗り替える発見として新聞・TV等でも大きく取り上げられた。</p>	東大寺 朝日新聞社 朝日放送
14	特別展	観音のみでら 石山寺	14.8.9～14.9.8	南都諸社寺等に関する計画的な調査研究	<p>・南都仏教と密接に関わる大津市・石山寺の文化財に対し、13年度以来総合的に行ってきた調査の成果に基づき、多数の初出陳品を含む同寺所蔵品を初めて包括的に紹介した。</p> <p>・調査過程で秘仏本尊の胎内から厨子に納入された古代の金銅仏4体を発見し、初公開した。新発見資料についての基礎的な調査研究成果を図録の別刷として制作頒布した。発見された金銅仏は、その後重要文化財に指定された。</p> <p>・展覧会終了後、維摩居士坐像・観音菩薩立像・仏涅槃図・銅鐸(いずれも重要文化財)などが寄託品に加えられ、平常展における活用が可能となった。</p>	

年度	区分	展覧会名	開催期間	関連する研究名	調査研究の展示事業への反映内容	備考(共催者等)
14	特別展	第54回正倉院展	14.10.26 ~ 14.11.11	正倉院宝物に関する調査研究	・当該研究の成果をふまえて展示を構成するとともに、研究員執筆の論考・解説を掲載した展覧会図録を制作刊行した。	
14	特別陳列	西大寺古絵図は語る 古代・中世の奈良	14.9.14 ~ 14.10.6	南都諸社寺等に関する計画的な調査研究	・西大寺と東京大学文学部に分蔵される西大寺絵図群を関連資料とともに初めて一堂に会し、最新の調査研究の成果に基づいて、景観や所領をめぐる争論の実態など、古代・中世の奈良の様相を浮き彫りにすることに成功した。 ・研究員執筆の解説を掲載して制作刊行した図録は類書のないもので、今後の研究の指針となる基礎資料としての価値を持つものと思われる。	
14	特別陳列	龍門文庫 知られざる奈良の至宝	14.11.26 ~ 14.12.23	南都諸社寺等に関する計画的な調査研究	・吉野町所在の坂本龍門文庫の蔵書に関する調査研究の成果に基づき、同文庫の蔵書を5部門に分けて、初めて包括的・体系的に紹介した。 ・出陳品のほとんどが初めて展示されたものであり、研究員執筆の解説を掲載して制作刊行した図録は、今後の研究のための基礎資料として、多大な価値をもつ。	
14	親と子のギャラリー	一遍聖絵 絵巻を味わう	14.11.26 ~ 14.12.23	収蔵品・寄託品についての継続的調査研究	・寄託品の国宝・一遍聖絵に関する調査研究の成果に基づいて展示を構成し、図録を制作刊行した。修理完成を記念する全巻展示であり、図録には修理時の知見を含む最新の情報を盛り込み、研究員が独創的な視点で執筆したコラムを掲載した。	
14	特別陳列	千體寺紫檀塗螺鈿厨子	14.11.26 ~ 14.12.25	収蔵品・寄託品についての継続的調査研究	・当該作品の修理が館内の漆工品修復工房で行われたことを機に、厨子内安置の阿弥陀三尊像とあわせて調査研究を行い、修理時の新知見を含む研究成果を盛り込んだリーフレットを制作刊行し、学界に提供した。	

年度	区分	展覧会名	開催期間	関連する研究名	調査研究の展示事業への反映内容	備考(共催者等)
15	特別展	女性と仏教 いのりとほほえみ	15.4.15 ~ 15.5.25	展覧会図録への論文掲載、出陳作品に関する調査研究	・わが国における女性と仏教の関係を包括的・体系的に、かつ実作品をとおして視覚的に提示し、研究員執筆の論文・解説を掲載した図録を制作刊行した。 ・繡仏を単なる工芸品としてではなく、女性の作善業の様相を端的に示す作品群と位置づけるなど、従来にない斬新な視点から出陳品選定と展示構成を行った。作品の制作背景に対する綿密な調査研究の成果が展示に反映され、当該テーマに興行きを与えることに成功した。	産経新聞社
15	特別展	日本・インド国交樹立50周年記念 インド・マトゥラー彫刻展	15.7.1 ~ 15.8.17	会場展示、レイアウトの企画に関する調査研究	・当該研究の成果を展示に反映するとともに、マトゥラー彫刻に関する調査研究の成果に基づく作品解説を、図録に掲載した。	NHK奈良放送局 NHKきんきメディア プラン
15	特別展	日本・パキスタン国交樹立50周年記念 パキスタン・ガンダーラ彫刻展	15.7.1 ~ 15.8.17	会場展示、レイアウトの企画に関する調査研究	・当該研究の成果を展示に反映するとともに、ガンダーラ彫刻に関する調査研究の成果に基づく作品解説を、図録に掲載した。	NHK奈良放送局 NHKきんきメディア プラン
15	特別展	第55回正倉院展	15.10.25 ~ 15.11.10	正倉院宝物に関する調査研究	・当該研究の成果をふまえ、展示を構成するとともに、研究員による論考・解説を掲載した展覧会図録を制作刊行した。	
15	特別陳列	達磨寺の美術	15.9.2 ~ 15.10.5	収蔵品・寄託品についての継続的調査研究	・王寺町・達磨寺の本堂解体修理に伴い、一時的に寄託を受けた同寺所蔵彫刻の綿密な調査を行い、それによって得られたデータ・知見を図録で公開し、学界に提供した。	
15	親と子のギャラリー	弥勒如来にささげる ~お経のタイムカプセル	15.9.2 ~ 15.10.5	収蔵品・寄託品についての継続的調査研究	・当該研究のうち経塚出土品に関する調査研究の成果に基づいて展示を構成し、図録を制作刊行した。	

年度	区分	展覧会名	開催期間	関連する研究名	調査研究の展示事業への反映内容	備考(共催者等)
15	特別陳列	大和の神々と美術 七支刀と石上神社の神宝	16.1.4 ~ 16.2.8	南都諸社寺等に関する計画的な調査研究	・当該研究のうち、15年度に天理市・石上神社で行った文化財総合調査の成果に基づき、多数の新資料を含む文化財を展示し、図録を制作刊行した。	
15	特集展示	動物たちの彫像	15.4.1 ~ 15.7.27	収蔵品・寄託品についての継続的調査研究	・大威徳明王騎牛像(平安時代)などが新たな収蔵品(文化財購入による)となったことをうけ、購入時の調査研究の成果を活用の上、既存の作品と比較展示することで、平安・鎌倉時代の動物表現の諸相を提示した。	
15	特集展示	獅子狛犬	15.7.29 ~ 16.1.25	収蔵品・寄託品についての継続的調査研究	・平安時代の獅子像(獅子・狛犬一対のうち)、及び鎌倉時代の獅子像(文殊菩薩像台座)が新たな収蔵品(ともに文化財購入による)となったことをうけ、購入時の調査研究の成果を活用の上、既存の収蔵・寄託品と比較展示することで、平安・鎌倉時代における獅子狛犬の図像・表現の変容の様相を提示した。	
15・16	特集展示	法隆寺伝法堂・乾漆造の諸尊像	16.3.23 ~ 17.3.31	南都諸社寺等に関する計画的な調査研究	・法隆寺伝法堂の堂内修理に伴って一時寄託を受けた、同堂安置の3組の木心乾漆阿弥陀三尊像に対して綿密な調査研究を行い、その成果を展示解説パネルに反映した。	
16	特別展	法隆寺 - 日本仏教美術の黎明 -	16.4.24 ~ 16.6.13	南都諸社寺等に関する計画的な調査研究	・当該研究のうち法隆寺関連の文化財調査の成果を集成して展示を構成し、各部門の研究員の執筆した5篇の論考を掲載した図録を制作刊行した。 ・法隆寺所蔵品と東京国立博物館蔵法隆寺献納宝物を一堂に展示したほか、金堂西の間天蓋の初出陳、止利様式の形成過程を示す彫刻や玉虫厨子の重要な比較資料等の中国・韓国からの借用などによって、法隆寺の文化財の意義を、包括的かつ国際的観点から提示。	朝日新聞社 NHK奈良放送局
16	特別展	黄金の国・新羅 - 王陵の至宝 -	16.7.10 ~ 16.8.29	海外の博物館・美術館との研究交流	・12年度より行ってきた韓国国立慶州博物館との研究交流の成果に基づき、同館所蔵の金製品などを借用・展示し、図録の制作刊行を行った。	韓国国立慶州博物館

年度	区分	展覧会名	開催期間	関連する研究名	調査研究の展示事業への反映内容	備考(共催者等)
16	特別展	第56回正倉院展	16.10.30 ~ 16.11.15	正倉院宝物に関する調査研究	・当該研究の成果をふまえ、展示を構成するとともに、研究員による論考・解説を掲載した展覧会図録を制作刊行した。	
16	特別展	台風被災復興支援 厳島神社国宝展	17.1.2 ~ 17.2.13	出陳作品に関する調査研究	・当館がかつて行った特別展『法華経』『仏教説話の美術』に基づく大型図録、及び研究紀要に掲載された国宝・平家納経関連の論文などの専門的な研究成果を核に、厳島神社の文化財に関する調査研究の成果を集成して展示を構成し、図録を制作刊行した。 ・図録は掲載の論考・解説が今日最高の研究水準を示すとともに、平家納経三十三巻全巻の図版を掲載したことによって、今後の研究の基礎資料としての価値をあわせもつものとなった。	厳島神社 読売新聞社
16	特別陳列	金飾の古墳時代 - 副葬品にみる日韓交流の足跡 -	16.7.10 ~ 16.8.29	収蔵品・寄託品についての継続的調査研究	・当該研究のうち、古墳時代の出土品に関する調査研究の成果に基づいて展示を構成し、図録を制作刊行した。特別展『黄金の国・新羅』と同時開催の企画であり、同展と有機的に関連づけることによって、より厚みある古代の日韓交流の実像を提示することに成功した。	
16	親と子のギャラリー	古地図を読みとく	16.7.10 ~ 16.8.29	収蔵品・寄託品についての継続的調査研究	・当該研究のうち古地図類に関わる調査研究の成果に基づき、初めて包括的・体系的な紹介を行った。制作刊行した図録は全く類書がないものであり、今後の基礎的な研究資料として、またすぐれた啓蒙書としての価値をもつ。	
16	特別陳列	大和の神々と美術 談山神社の名宝	16.12.11 ~ 17.1.23	南都諸社寺等に関する計画的な調査研究	・15年度以来行ってきた談山神社における文化財総合調査の成果に基づき、美術工芸全分野にわたる宝物群を、関連資料とともに初めて包括的に紹介した。 ・出陳品には初公開の新資料が多数含まれており、調査で得られたデータ・知見を盛り込んで制作刊行した図録は、今後の研究の基礎資料となるものである。 ・展示をとおして、多数の宝物が寄託品に加えられ、平常展での活用が可能となった。	
16	特別陳列	法隆寺救世観音像旧厨子	16.12.11 ~ 17.1.23	南都諸社寺等に関する計画的な調査研究	・法隆寺で15年度に発見された当該作品の屋根部分を、本体部分とあわせて現地で調査し、初めて復原展示を行った。 ・調査によって得られたデータ・知見はリーフレットにて公表し、今後の研究のための基礎資料とした。	

年度	区分	展覧会名	開催期間	関連する研究名	調査研究の展示事業への反映内容	備考(共催者等)
	その他	パネル展示 (地下回廊学習コーナー)		仏教絵画の光学的調査	・当該研究の成果のうち、館蔵品の十一面観音像(国宝)の四種の高精細デジタル画像(普通画像、二種の近赤外線画像、可視光励起画像)をパネル化し、本調査の意義及び撮影によって得られた新知見等に関する解説を付して展示した。	